

(P.3 より続き) 「職業奉仕」は相手の立場に立って仕事をする事です。

「相手に何をさせるのか」ではなく、「相手のために何ができるか」です。

しかし、人は必ずしも要求をすべて表現できるとは限りません。何が言いたいのかよくわからない人、言いたいことをはっきり言わない人、など。その際に求められるのが「付度力」です。「思いやりの気持ちをもって、相手が何を考えているのか、何をしてもらいたいのかをおしはかってください」。それが「付度力」です

三省堂国語辞典 命：人や動物が生きて活動するための、おおもとなるもの。

人生：①この世の中で、人が生きてゆくこと。②人間の生きている間。

新明解国語辞典 命：生物が生きている限り持続している肉体や精神の活動を支える根源の包括的な呼称。(一瞬一瞬生きることの繰り返しとして、捉えられる緊張の持続であり、客観的には有限であるものが、主体的には無限の連続として受け取られるところに、その特徴がある。) 人生：人間がこの世に生きていくこと、その生き方。人生意気に感ず。人間は、金銭や名誉のためではなく、自分を理解してくれるひとのあたたかい気持ちに感じて仕事をする(引き受ける)ものだ。

「**研修**」とは「**人格形成**」研修とは、「より高い人格者を目指すこと」で、「ご縁」のありがたさと、その意味を考えることで、「職業奉仕」の概念に帰着します。その思想的経緯は、我々は、何かの縁で生まれてきてしまったのは事実だ。では？

- ・私はなぜ、何のために生まれ、生き、生活つまり仕事をしているのか。
- ・その思考を繰り返すことにより、自分が社会の一員であることに気づく。
- ・人は一人では生きていけない、助け合いが必要であることにも気づく。
- ・自分勝手ではいけない、相手の立場に立って考える、付度力の必要意に気づく。
- ・社会の一員としての職務、つまり職業を投げ出さずに全うする覚悟を持つ。
- ・すなわちそれが「職業奉仕」の概念。・社会の一員であることを認めてもらうことに喜びを感じる。・さらには、命への感謝を感じる。
- ・この域まで達すると、ロータリーは単なる奉仕団体ではなくなる。

「命の使い方」考える団体と言ってもよい、ロータリーが「人生哲学」と言われるのはそのためであると思います。これが「研修」です。この「研修」は、もちろん、地区の研修でも可能ですが、これは僕の経験上、各クラブで行ってもらいたいと考えています。地区の研修は初対面の方もいます。すると、緊張し、気を使うことになります。一方自クラブでは、心の打ち解けた気の置けない仲間に囲まれる環境なので、じっくりと語り合い、研修を積むことができます。「ロータリーはクラブが基本」とする由縁はそこにあるのでしょう。しかし、例会だけではなかなか深い研修の域には達せないのです。家庭集会や炉辺会合を積極的に開催し、所属する各クラブの先輩方が後輩に、ロータリーの魅力を語り、後輩の人格形成のためにご尽力いただきたいのです。ナイフは砥石で研げますが、ダイヤモンドはダイヤモンドでしか研げないように、人は人でしか研げないのです。ゆえに、時に先輩方は厳しく語って頂いて結構だと思います。後輩は、上手に受け入れてください。口うるさい先輩やパストガバナーは貴重な存在です。なぜなら、砥石が軟かったら、刃物は研げないからです。しかし、擦り潰してしまったら元も子もありませんが。(次号へ続く)

週 報

THE MAGIC OF ROTARY

ロータリーのマジック

ステファニー A. アーチック

2024-25 年度 国際ロータリー会長

第 2925 号



NAHA
Rotary
那覇ロータリークラブ

令和 6 年
7 月 9 日
2024 年
JUL

第 3049 回 例会報告 例会記録・予定

■出席報告

会 員 数	65 名
出 席 免 除 会 員	1 名
出 席 計 算 会 員	64 名
出 席 会 員	32 名
欠 席 会 員	32 名
出 席 率	50.00%

欠席会員名 安里(政)、上原(義)、中村(聡)、与儀、亀川(偉)、新垣(豊)、与儀、平良、松島、新里、長嶺、許田、国吉、渡辺、下石、中村(英)、宜保、白石、与那覇、上原(修)、米須、赤嶺、下地、義元、宮里、新垣(直)、武田、山内、小島、久見瀬、淵辺、河野。

ガバナー補佐クラブ訪問

緑間 禎 沖縄分区ガバナー補佐(那覇東)
西村 真一 沖縄分区 分区幹事(那覇東)

ビジター 山里 将 氏(地区 IA 委員長：浦添)

☆プログラム

7 月 16 日 (火)

「ポリオ根絶活動と公共イメージワークショップ」

ゲスト 大津 彰子 氏

インタビュアー 谷一文子 RID2580GN(東京小石川)

7 月 23 日 (火) 那覇・那覇西 RC 合同例会

「国際ロータリー第 2580 地区

青少年交往来日学生帰国前報告会」

7 月 30 日 (火) 休会

8 月 20 日 (火)

「国際ロータリー第 2580 地区

第 34 回地区インターアクト年次大会報告」

沖縄県立那覇高等学校インターアクトクラブ

那覇ロータリークラブ

事務局 那覇市西 3 警察-6-1 (パシフィックホテル沖縄 1 階) TEL 868-1224 FAX 861-4918

E-mail アドレス naha-rc@m1.cosmos.ne.jp HP アドレス : <http://naha-rc.org/>

会長 伊志嶺 匡 副会長/クラブ管理運営委員長/会長エレクト 津嘉山 伸 副会長/クラブカウンセラー 安里 政晃
幹事 安里 繁信 クラブ会報委員長 与那覇 正明 副委員長 下地 浩之 委員 宜保 文雄

■ニコニコ BOX (*^*)v

緑間 禎 沖縄分区ガバナー補佐 (那覇東)

西村 眞一 沖縄分区 分区幹事 (那覇東)

一年間、宜しく御願ひ申し上げます。

山里 将 地区 IA 委員長 (浦添)

緑間ガバナー補佐に逢いに来ました。

西村分区幹事と1年間頑張ってください。

伊志嶺 匡 会長

本日は緑間ガバナー補佐、西村分区幹

事、卓話をありがとうございました。

一年間よろしく御願ひします。

名嘉 義明 パスト会長

緑間ガバナー補佐、西村分区幹事、本日

のご来訪歓迎申し上げます。一年間よろ

しく御願ひ致します。にこにこ。

■2024-25 年度 ニコニコ BOX

本日のニコニコ BOX ¥10,000

累計 ¥43,000

■幹事報告 安里 繁信 幹事

*7月のRIレートは1ドル161円です。

*上半期会費等の請求書を送付致しました。届きましたら期限内でお振込み下さいますよう、よろしく御願ひ致します。

*他クラブ例会休会・変更

・石垣RC・名護RC 7/17 (水) 休会

・コザRC 7/18 (木) 休会

・浦添RC 7/19 (金) 休会

「那覇東RC・浦添RC合同例会」へ変更

会場：ダブルツリーbyヒルトン那覇首里城

20F *メイクアップのお申込は7/22 (月) までに浦添RC事務局まで。

・名護RC 7/31 (水) 休会

*2024-25年度第1回分区連絡会のご案内が届きました。

日時：7/26 (金) 会議16:00~17:50

懇親会 18:00~20:00

場所：ホテルコレクティブ2階

会費：6,000円 (当日お支払い下さい)

ご案内先：会長・幹事・地区役員/委員

■ガバナー補佐訪問



父が那覇RC会員でしたのでご縁を感じておりますと緑間AGと西村分区幹事を支えて参ります今年度は緑間AG

■会長報告

伊志嶺 匡 会長

*本日は緑間禎ガバナー補佐のクラブ訪問です。西村眞一分区幹事もご随行頂きありがとうございます。

*本日は、ガバナー補佐クラブ訪問ですので私から少し、ガバナー補佐についてのご説明をさせていただきます。「ガバナー補佐はクラブと最も頻りに連絡を取り合う地区指導者であり、通常クラブと地区および国際ロータリーのためのパイプ役としての役割を果たします。ガバナー補佐は地区の目標の設定を補佐し、クラブと地区を結びつける役割を担います。またガバナー補佐はガバナーの意向を各クラブに伝え、クラブの課題を地区へ報告し課題解決に向けて様々な地区委員会と連携してクラブの助けとなるように橋渡しをします。」緑間ガバナー補佐は沖縄分区で6クラブを担当なさいます。(那覇、石垣、コザ、那覇東、名護、沖縄首里)

*友好クラブ東京ワセダ RC 創立 30 周年記念式典祝賀会が9/25 (水) に開催されます。多くの会員でお祝いにまいりましょう。

■2024-25 石川彌八郎ガバナー年度 合言葉と活動方針

合言葉「隔たりを取り除き、“ご縁”を大切に」

(序) ロータリークラブとは「人格を高めようと努力している人たちの集まり」と考えます。人格者とは、人間性、人柄、品性、高潔性、思いやり(村度力)、などを持ち得る人です。

では、どのようにして人は人格を高めることができるのか。

「高い低い」とは相対的な概念です。ゆえに、人がたった一人で生きていたのであれば、そこに、高いも低いもありません。そのような環境では、人間性、人柄、品性、思いやり、などを測ること自体が出来ないので、人格を高めるなどという概念は存在しないのです。人格を高めるという概念は、我々が人と人との間で暮らしている、つまり「社会の一員である」ということを認識することから始まります。事実、人間とは「人の間」と書くのです。我々が「社会の一員である」ということを理解すれば「人間は一人では生きていけない」ことがわかり、そして「お互いに助け合うことの重要性」「相手の立場になって考えること、つまり村度力の重要性」に気が付きます。これはつまり、

「職業奉仕」の概念を理解しあうことなのです。しかし恥ずかしながら、僕が「職業奉仕」を理解したのは、入会して三年頃、自クラブでの研修の時でした。もし僕が、そのまま、「職業奉仕」の概念に触れなければ、僕は今頃ロータリアンではなかったことでしょう。昨今、会員の減少が問題になっていますが、根源はそこにあると考えます。僕は幸いにも、入会三年程度に救われました。しかし、せっかくロータリーに入会しても、「職業奉仕」の概念に触れることなく、その魅力を感じないがゆえに退会してしまった人も多くいたでしょう。それはとても残念なことです。入会三年以内の会員の研修の重要さはそこにあるのです。

「隔たりを取り除き、“ご縁”を大切に」

昨今、ロータリーでは DEI が語られています。この DEI の概念は「隔たりを取り除こう」で換言できると考えられます。実は、私が所属する東京福生ロータリークラブが1968年に設立した時の会長テーマは「隔たりを取り除こう」でした。50年以上も前のことです。それゆえ、DEI の概念は決して新しいものではなく、むしろ社会の永遠のテーマであると考えべきです。初代会長の名は石川彌八郎、私の祖父でした。よって、あえて石川年度の合言葉に使用しました。隔たりを取り除き、ご縁を大切にすることにより、より多くの人にロータリーの魅力を伝え、会員増加を図りたいと考えた次第です。

~村度力(人間力)を高めよう~

「研修と親睦」そして奉仕 ロータリーの魅力の再認識

「村度力」 村度とは、

村度：自分なりに考えて、他人の気持ちをおしはかること。(新明解国語辞典)

村度：①相手の気持ちを推測すること。

②有力者などの気持ちを推測し、気に入られるよう行動すること

(三省堂国語辞典)

(P4へ続く)

